

豚熱の発生及び防疫措置について

令和6(2024)年5月26日

1 発生農場の概要及び経過について

(1) 発生農場の概要

所在地：那須塩原市〔令和3年4月発生農場（2例目）と同一農場〕

飼養頭数：約16,000頭

関連農場：預託農場2か所

※農場外への移動制限措置を指示

(2) 経過

5月24日（金） 22:10 農場から、県北家畜保健衛生所に豚熱疑いの通報あり

通報内容

5月8日頃、死亡する飼養豚が増え、農場の管理獣医師は原因を特定するため、民間の検査機関に検査を依頼し、その中で豚熱疑いの結果が出た

25日（土） 9:50 県北家畜保健衛生所が農場に立入・検査材料を採取

17:30 県央家畜保健衛生所にて実施したPCR検査結果陽性
(28頭中8頭陽性)

26日（日） 18:00 国の遺伝子解析陽性

19:00 県豚熱対策本部会議開催
国患畜確定

2 防疫措置の概要

(1) 発生農場での防疫措置

- ・当該農場の飼養豚の殺処分（約16,000頭）、家畜等の埋却
- ・畜舎等の清掃・消毒

(2) 防疫措置に要する期間

30日程度

(3) 集合施設

旧 那須塩原市横林小学校（那須塩原市横林137-5）

(4) 消毒ポイントの設置

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（那須塩原市千本松 298）

(5) 防疫措置等に要する経費

15億円（知事専決処分により補正予算を編成）

3 その他

豚熱は、豚及びイノシシのみに感染する病気であり、人に感染せず、仮に豚熱に感染した豚の肉や内臓を食べても、人体に影響はありません。

現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあること、農家の方のプライバシーを侵害するおそれがあることなどから厳に慎むよう御協力をお願いいたします。

(用語解説)

- ・PCR検査：血液や臓器などを用いて、特定のウイルスの遺伝子のみを増やすことで、豚熱ウイルスの有無を調べる検査。
- ・遺伝子解析：PCR検査で増幅された遺伝子の配列を調べ、ワクチンによるものではないかを調べる検査